

<国語解答> 《学校からの正答の発表はありません。》

- 一 問一 1 ひがん 2 憤慨 3 そ(っ)けな(く) 4 捜(し) 5 よ(る)べ
6 緩(んで) 問二 ア 息 イ 判 問三 2 問四 (例) 桜の木が、普段は
疎遠な近隣の人たちと親しく接する機会を作っていたということ。 問五 (例) まるで
桜の木に誘われるように、思わず桜の木に登ってしまったということ。
問六 (例) 歯医者さんから逃げ出してみんなを心配させ、さらに姿を隠すために桜の木
に登るという危険な行為をしているから。 問七 (例) 上から見られていることなど全
く気づかずにいる人たちの様子が頼りなく見えると同時に、何となくこっけいにも感じら
れたから。
- 二 問一 X 1 問二 Y よき所 Z 悪き所 問三 3 問四 (例) 自分よりも
未熟な演者のよい所を認めることができない頑固な心に縛られているから。
問五 (例) 熟練者の悪いところを見たら、未熟な自分はさぞかし悪いことだろうと反省
し、周囲に尋ね、自分でも工夫をして稽古に励む。 問六 名前(ひらがな) ゼあみ
問七 (古い順) 4→2→3→1→5
- 三 問一 1 いなほ 2 所産 3 典型的 4 辛抱 問二 (例) つながりや連帯
という発想がなく、この世は因果律的に動くのではないと考えること。
問三 (例) 直線的、両極的な一元論的世界で、目に入るもの以外のことを考える必要性
のないもの。 問四 沙漠に適応した姿で行動する。(14字) 問五 (例) 生命を維持
するために必要な水や食料を手に入れる交渉に成功しなければ生きていけない過酷なもの。
問六 2・3・5
問七
- | | | | | | |
|------|----|----|-----|-----|-----|
| 無縁な | 世界 | と | いえる | でしょ | う |
| 連体形 | | | 終止形 | 未然形 | 終止形 |
| 形容動詞 | 名詞 | 助詞 | 動詞 | 助動詞 | 助動詞 |

<国語解説>

- 一 (小説一漢字の読み書き、脱語補充、慣用句、情景・心情、文脈把握、内容吟味)
- 問一 1 「彼」を使った熟語はほかに「彼我」など。訓読みは「かれ」「かの」。 2 「憤」を使っ
た熟語はほかに「憤怒」「義憤」など。訓読みは「いきどお(る)」。 3 「素っ気ない」は、愛想
がない、冷淡、という意味。「素」を使った熟語はほかに「素質」「素描」など。音読みはほかに
「ス」。熟語は「素足」「素直」など。訓読みは「もと」。 4 「捜す」は、見つけようとしてさが
す、という意味で、落とし物を探す、迷子を捜す、などと使う。同訓の「探す」は、あるのでは
ないかと思ってさがす、という意味。「捜」の音読みは「ソウ」。熟語は「捜査」「搜索」など。
5 「寄る辺」は、頼りとするところ、という意味。 6 「緩」の訓読みは「ゆる(い)」「ゆる(む)」「
ゆる(める)」「ゆる(やか)」。音読みは「カン」。熟語は「緩衝」「緩慢」など。
- 問二 ア 「息をのむ」は、はっとして、思わず息を止める、という意味。「息をひそめる」は、息
を止めるようにじっとしていること。 イ 「判で押したよう」は、判子を押したように、みな
同じ、という意味。
- 問三 この時のよりさんの心情は、後に「あのぽっかりと澄んだ空の下に、桜が無いなんて……。」
「子どものころからある大木が、知らない間に、なくなっていたなんて……。」と表現されている。
桜の木が倒れたことの意外性に驚くと同時に、桜の木の様子を思い浮かべているので、「桜の木